

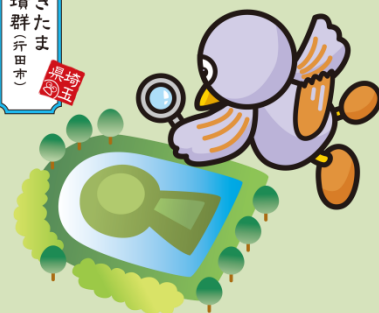
平成27年度 行田市立教育研修センター 夏季研修会 ー特別活動研修会ー

埼玉県教育局東部教育事務所

行田市教育委員会（行田市立教育研修センター）では、市内小・中学校の教員の現職研修の一環として、夏季休業日の時期を利用して、教科等の研修会を開催しています。

平成27年度の特別活動研修会に東部教育事務所の指導主事の派遣を要請いただきましたので、その内容を紹介します。

さきたま
古墳群
行田市
県立



研修会の概要

1 日時 平成27年 8月 5日（水）13:30～16:30

2 場所 行田市立教育研修センター（研修室）

3 内容

（1）開会の言葉

（2）挨拶

特別活動主任会相談役（市内校長）

（3）講師紹介

（4）講義・演習

東部教育事務所 学力向上推進担当 指導主事

学級活動の授業づくり

～話し合い活動の活性化を求めて～

1 はじめに

今日の教育界の動向 最優先課題は「学力向上」

【学力の3要素】これらのバランスを重視（学校教育法第30条→学習指導要領 総則）

① 基礎的・基本的な知識及び技能

② 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等

③ 主体的に学習に取り組む態度

【県教育長】あらゆる教育活動の土台となる人間関係づくり、クラスづくり

2 特別活動とその内容の筆頭、学級活動

（1）学習指導要領上の位置付け（小学校）

（2）学習指導要領上の位置付け（中学校）

（3）特別活動という領域…①目標②内容

（4）核は、学級活動（小・中学校の活動内容）

3 学級活動の授業づくり

～学級活動の授業を実践しよう～

（1）学級活動の授業実践の実態を顧みる⇒把握
自校（自身）の授業実践状況の確認と評価



講義：学級活動の授業づくり

(2) 学級活動の授業づくり

「特別活動リーフレット」(文部科学省、国立教育政策研究所)

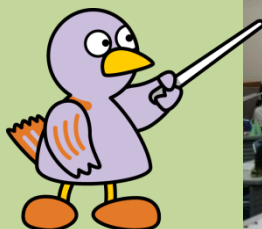
「学級活動リーフレット」(埼玉県教育委員会)

(3) 模擬授業 ～教員で模擬学級会をやってみよう！～

模擬授業 第6学年 議題「1年〇組との交流会を計画しよう」

【役割分担】

- 教師 (1名)
- 計画委員 (5名)
- まとめる子供役 (6名)
- わがままな子供役 (6名)
- その他の子供役 (4名)

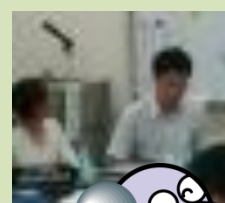


市内教員による模擬学級会

(5) 質疑応答

(6) 謝辞

(7) 閉会の言葉



4 参加者の感想等 (提供：行田市教育委員会)



- 中学校の実践的な方法が示され、大変有意義だった。早く学級会を開きたい。
- 学力向上には「心を耕す」ことが大切で、そのためには特別活動の担う部分が非常に大きいと分かった。
- 模擬授業は子供たちの気持ちがわかり大変参考になった。2学期からの授業に生かしたい。
- 「為すことに学ぶ」教師自身がどんどん体験をして、それを子供たちに返していきたい。
- 緊張する気持ちや子供の立場に立って学級会を考えることができた。
- まとめ方が難しいと感じることがあり、司会のまとめ方がとても参考になった。
- 模擬授業では議事の進め方や板書の工夫(ラミネート・マグネット)などとても勉強になった。
- 中学校では、学校行事に対しての討議や生徒総会の討議程度しか実践できていなかったのが、参考になった。
- 模擬授業をすることで、賛成・反対の意見の扱い方の大切さを改めて感じた。
- 9年間で子供を育てるという意識が小中連携する上で非常に大切なことだと思った。
- 話合いで折合いをつける方法を学ぶ大切さがよくわかった。自分の頭で考え、きちんと判断できる国民を作るという意識を持ちたい。
- 模擬学級会の演習をとっても楽しく学ばせていただけた。自分のクラスでも子供たちに助言をしながら学級会を進めていきたい。
- 学級会の流れを実体験することができた。計画委員の動きを見ていてとても勉強になった。
- 2学期からすぐに実践したい内容ばかりでとても勉強になった。
- 普段軽視しがちな領域なので、自分を戒めるためのよい研修だった。
- 特別活動主任として学級活動はもちろんのこと、児童会活動やクラブ活動、学校行事もさらに充実させなければいけないと改めて感じた。いただいた資料もフル活用して取り組んでいきたい。
- 子供の気持ちになって話し合うことは難しかったが、2学期につながる有意義な研修となった。
- 模擬学級会を通してやり方がよくわかった。もっとたくさん参加してもらえるとよいと思う。
- 模擬授業は小・中学校別に分けてもよいかと思った。